



インフュージョン

在庫スイートクラウド

マルチデバイスオプション

マニュアル

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第 1.0 版	2018 年 10 月 31 日	初版
第 1.1 版	2018 年 11 月 20 日	品目入力の自動切替対応
第 1.2 版	2019 年 02 月 12 日	動作環境に iOS を追加
第 1.3 版	2019 年 03 月 13 日	JAN(bowl)／ITF 専用項目対応
第 1.4 版	2019 年 06 月 26 日	ユーザーの複数所属倉庫対応
第 1.5 版	2019 年 10 月 30 日	倉庫間入出荷対応 現品票ラベル発行対応
第 1.6 版	2020 年 06 月 03 日	GS1/UPC 専用項目対応 入荷実績の在庫状態入力対応
第 1.7 版	2020 年 06 月 16 日	品目名 AND 検索対応
第 1.8 版	2020 年 09 月 16 日	在庫状態拡張対応 ロット入力時の日付形式整形及び日付入力補助に対応 UPC-A 読み取り設定対応
第 1.9 版	2020 年 10 月 21 日	入荷日自動入力対応 在庫参照検索機能強化 CODE39 チェックデジット読み取り設定対応
第 2.0 版	2021 年 02 月 17 日	注意メッセージ対応 数量自動カウントアップ対応 Android(スマートフォン)の動作環境を変更
第 2.1 版	2021 年 03 月 17 日	振替-移動 & 在庫状態変更対応 送り先ロケーションの在庫転記について追記 数量初期表示時の全選択対応
第 2.2 版	2021 年 06 月 16 日	動作環境のネットワークについての説明を修正 BHT-1700/1800 のインストール方法を修正
第 2.3 版	2021 年 11 月 10 日	数量自動カウントアップ対応
第 2.4 版	2021 年 12 月 15 日	iOS の動作環境を変更 入荷検品・出荷検品の説明を修正
第 2.5 版	2022 年 03 月 02 日	HT オープン化対応 品目入力強化対応 Android の Google Play 非経由インストールについて追記
第 2.6 版	2022 年 04 月 26 日	ヘッダ入力スキップ対応
第 2.7 版	2022 年 08 月 03 日	倉庫間入出荷の機能強化対応 自動ログアウトの時間設定を追加
第 2.8 版	2022 年 09 月 21 日	QR コード現品票の入数印字対応 カメラ読取範囲の切替対応

第 2.9 版	2023 年 06 月 14 日	通常品以外の出荷対応 使用期限の末日自動付加対応
第 3.0 版	2023 年 07 月 12 日	品目毎の入力指定対応
第 3.1 版	2023 年 07 月 19 日	GTIN-14 インジケータ違いの検索対応

はじめに

この度は、「在庫スイートクラウド」をご利用頂き、ありがとうございます。
本書は、マルチデバイスオプションの基本的な使用方法とモバイル機器での運用について説明しています。
ご使用になる場合は本書ならびに「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧頂き、十分に理解した上でご使用下さい。

本文中の表記について

本文中では次のような表記を使っています。

- 本サービス 在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro を指します。
- 本オプション マルチデバイスオプションを指します。
- 本アプリケーション マルチデバイスで提供されるアプリケーションを指します。
- モバイル機器 対応のモバイル機器は無線ハンディターミナルと Android と iPhone です。
共通の説明では特にこのように表記します。
- スマートフォン 特に HT と区別する場合はこのように表記します。
- HT 無線ハンディターミナルです。
特に Android や iPhone と区別する場合はこのように表記します。
対応の無線ハンディターミナルについては動作環境をご確認下さい。
- Android 特に HT や iPhone と区別する場合はこのように表記します。
- iPhone 特に HT や Android と区別する場合はこのように表記します。
iPod touch も含みます。
- アプリストア Google Play または App Store。
- タップ 画面をタッチすること
- システム管理者 お客様側のシステム管理者を指します。

第1章 概要	12
1-1 サービス内容・動作環境	13
1-2 主要スペック	14
[1] 入力項目の入力桁数	14
[2] 読取バーコード	15
1-3 機能一覧	16
1-4 「在庫スイートクラウド」と本オプションの構成	17
第2章 基本動作	18
2-1 インストールと起動・終了	19
[1] インストール（ダウンロード）	19
[2] 起動とログイン	20
[3] ログアウトと終了	21
[4] 自動ログアウト	22
2-2 設定	23
[1] システム設定	23
[2] 品目台帳の画像設定	26
[3] 品目台帳の注意メッセージ設定	26
[4] 設定による画面変更	27
[5] 設定によるヘッダ入カスキップ	28
[6] 音量設定	29
2-3 メニュー	30
[1] 各作業とメニュー	30
[2] フッターメニュー	31
2-4 データ入力	32
[1] バーコード／QRコード入力	32

[2] マニュアル入力.....	33
[3] 入力時の台帳参照	33
[4] 入力のスキップ.....	33
2 - 5 品目の入力	34
[1] 設定別の品目入力	34
[2] 標準検索項目の手動切替.....	36
[3] 標準検索項目の自動切替.....	37
[4] 流通バーコードと専用検索項目.....	37
[5] 検索が複数ヒットした場合.....	38
2 - 6 ロケーション・ロット入力有無の設定	39
[1] ロケーション入力の設定	39
[2] ロット入力の設定.....	39
2 - 7 ロットの入力	40
[1] 日付形式の整形.....	40
[2] 日付入力補助.....	40
[3] 入荷日自動入力	41
2 - 8 在庫状態の入力	42
[1] 在庫状態入力の必要性	42
[2] 在庫状態の自動入力と変更	42
[3] 在庫状態入力の操作.....	44
2 - 9 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力	45
[1] 入力時の在庫参照とその活用法	45
[2] 推奨ロケーション入力	47
2 - 10 QRコード現品票とバーコード現品票.....	48
[1] QRコード現品票.....	48
[2] ロット1、ロット2非表示時	48
2 - 11 GS1-128/GS1 Databar について	49

[1] GS1-128/GS1 Databar の読み取り.....	49
[2] GS1-128 の 2 段バーコード読み取り.....	50
2 – 1 2 数量のキー入力.....	51
[1] 数量入力とソフトウェアキーボード.....	51
[2] 数量の補助入力.....	52
2 – 1 3 数量の自動カウントアップ°.....	53
[1] 入荷実績・出荷実績.....	53
[2] 出荷検品.....	55
[3] 加算する数量について.....	56
2 – 1 4 実績データの登録.....	57
[1] 実績伝票の登録と破棄.....	57
[2] 伝票日付と登録日時.....	57
2 – 1 5 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作.....	58
[1] 対象伝票の指定方法.....	58
[2] 検品作業.....	59
[3] 検品の登録.....	60
[4] 複数のモバイル機器での入荷検品.....	60
2 – 1 6 出荷検品（本引当）の操作.....	61
[1] 対象伝票の指定方法.....	61
[2] 検品作業.....	62
[3] 検品の登録.....	63
[4] 複数のモバイル機器での出荷検品.....	63
[5] 元伝票番号検索について.....	64
2 – 1 7 倉庫間出荷の操作.....	65
[1] 倉庫間入荷の同時登録.....	65
2 – 1 8 件数が多い場合について.....	66
[1] 入力画面の明細件数について.....	66

[2] 在庫参照について	66
[3] 品目選択について	66
[4] 元伝票番号について	66

第3章 入荷 _____ **67**

3 - 1 入荷実績 **68**

[1] 作業概要.....	68
[2] 入力画面.....	68

3 - 2 入荷検品 **69**

[1] 作業概要.....	69
[2] 入力画面.....	70

3 - 3 入荷返品 **71**

[1] 作業概要.....	71
[2] 入力画面.....	71

3 - 4 倉庫間入荷..... **72**

[1] 作業概要.....	72
[2] 入力画面.....	72

第4章 出荷 _____ **73**

4 - 1 出荷実績 **74**

[1] 作業概要.....	74
[2] 入力画面.....	74

4 - 2 出荷検品（仮引当） **75**

[1] 作業概要.....	75
[2] 入力画面.....	76

4 - 3 出荷検品（本引当） **77**

[1] 作業概要.....	77
-----------------	----

[2] 入力画面.....	78
4 - 4 出荷返品	80
[1] 作業概要.....	80
[2] 入力画面.....	80
4 - 5 倉庫間出荷.....	81
[1] 作業概要.....	81
[2] 入力画面.....	81
第5章 振替	82
5 - 1 移動	83
[1] 作業概要.....	83
[2] 入力画面.....	83
5 - 2 移動&在庫状態変更.....	84
[1] 作業概要.....	84
[2] 入力画面.....	84
第6章 棚卸	86
6 - 1 棚卸	87
[1] 作業概要.....	87
[2] 入力画面.....	87
第7章 在庫参照	88
7 - 1 在庫参照 (品目別)	89
[1] 作業概要.....	89
[2] 入力画面.....	89
7 - 2 在庫参照 (詳細)	90
[1] 作業概要.....	90
[2] 入力画面.....	90

第8章 ツール	91
8-1 現品票発行	92
[1] 作業概要	92
[2] 入力画面	92
第9章 設定・確認	93
9-1 設定・確認メニューの呼び出し	94
9-2 プリンター設定	95
[1] 作業概要	95
[2] 入力画面	95
9-3 QRコード現品票	96
[1] 作業概要	96
[2] 入力画面	96
9-4 デバイス情報	97
[1] 作業概要	97
[2] 確認画面	97
第10章 付録	98
10-1 警告	99
[1] 警告画面表示	99
[2] 警告一覧	99
10-2 エラー	101
[1] エラー画面表示	101
[2] エラー一覧（共通）	102
[3] エラー一覧（Proのみ）	105

第1章 概要

1-1 サービス内容・動作環境

■ サービス内容

システム提供時間	24 時間 365 日
ヘルプデスク提供時間	当社営業日 9:00-12:00 13:00-17:30
データセンター	Microsoft Azure 日本データセンター *1
セキュリティ	SSL/TLS 256bit

*1. サーバーの冗長化とデータ保護、サーバー監視と障害対応は Microsoft Azure に依存

■ 動作環境

モバイル機器	Android(*1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Android7.1 以上 ・インターネット接続 ・Bluetooth 接続 ・カメラ付き ・64bit 版アプリが動作すること ・バーコードのキー出力&終端 Enter (ハンディターミナルのみ) <p>※全ての端末での動作を保証するものではありません。 ※Google Play でのインストールを推奨。*2</p>
	iOS	<ul style="list-style-type: none"> ・iOS 13.0 以上 ・iPhone/iPod touch に対応。 <p>※iPad は iPhone 互換モードで動作します。</p>
ネットワーク	<p>常時接続可能なインターネット回線 (1.5Mbps 以上の回線を推奨) HTTPS(ポート 443)による、インターネット経由での弊社クラウドアプリケーションサーバーへのアクセスが可能なこと</p>	

*1. デンソーウェーブ製 BHT-1700/1800 シリーズもサポート対象です。

*2. Google Play を経由しないインストールも可能ですが、その場合以下の制限があります。

- ・ アプリのバージョンアップは手動で行う必要があります。
- ・ 内蔵カメラによるバーコード/QR コード読取を行うには、初回実行時に Google Play の有効化が必要な場合があります。(必須コンポーネントを自動インストールするため)

1-2 主要スペック

[1] 入力項目の入力桁数

バーコードやQRコードによる入力では、システムの最大桁数まで入力出来ます。
表示桁数は使用するデバイスの画面サイズや解像度により異なります。

項目	文字種	システム最大桁数 (入力最大桁数)
Keyコード	半角*1	32桁
品目コード	半角*2 (英字は大文字のみ)	50桁
数量	整数+小数	9桁+3桁
箱数	整数	5桁
倉庫コード	半角英数字*1	6桁
ロケーションコード	半角英数字*1	17桁
出荷先コード 仕入先コード 直送先コード	半角英数字*1	15桁
グループID	英数字	30桁
ユーザー	英数字*3	20桁
パスワード	英数字	20桁
ロット1・2	全角・半角*4とも	40桁
伝票番号	数字	12桁
元伝票番号	全角・半角*4とも	35桁

*1…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。なお、先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。

*2…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。なお、末尾のスペースは削除して入力されます。

*3…数字(0~9)、英字(大文字/小文字は区別されません)、「-」「_」「.」が入力可能です。

*4…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。

[2] 読取バーコード

各モバイル機器の読取バーコードです。

バーコード種別	ハンディターミナル	スマートフォン	
		Android	iOS
CODE39	○	○	○
CODE93	○	○	○
CODE128	○	○	○
Codabar(NW7)	○	○	×
EAN/JAN	○	○	○
UPC-A/UPC-E	○	○	○
ITF	○	○	○
GS1-128*4	○	○	○
GS1DataBar*4	○*1	×	×
STF	○	×	×
MSI	○*2	×	×
QR *5	○*3	○	○
DataMatrix	○*3	×	×
PDF417	○*3	×	×
Maxi	○*3	×	×

*1…各ハンディターミナルの対応に依存

*2…1次元コードモデルのみ対応

*3…2次元コードモデルのみ対応

*4…バーコードシンボルとしての対応です。

対応するアプリケーション識別子については「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」マニュアルをご覧ください。

*5…内蔵カメラによる読み取りの場合、半角カナは非対応

1-3 機能一覧

本サービスの機能一覧です。

エディション		棚卸	Lite	Pro
権限管理	ログイン認証	○	○	○
入荷	入荷実績	—	○	○
	入荷検品	—	—	○
	入荷返品	—	○	○
	倉庫間入荷	—	○	○
出荷	出荷実績	—	○	○
	出荷検品 *1	—	—	○
	出荷返品	—	○	○
	倉庫間出荷	—	○	○
振替	移動	—	○	○
	移動&在庫状態変更	—	○	○
在庫参照	在庫参照 (品目別/詳細)	○	○	○
棚卸	棚卸	○	○	○
ツール	現品票ラベル発行 *2	○	○	○

*1・・・設定により仮引当または本引当に対応します。

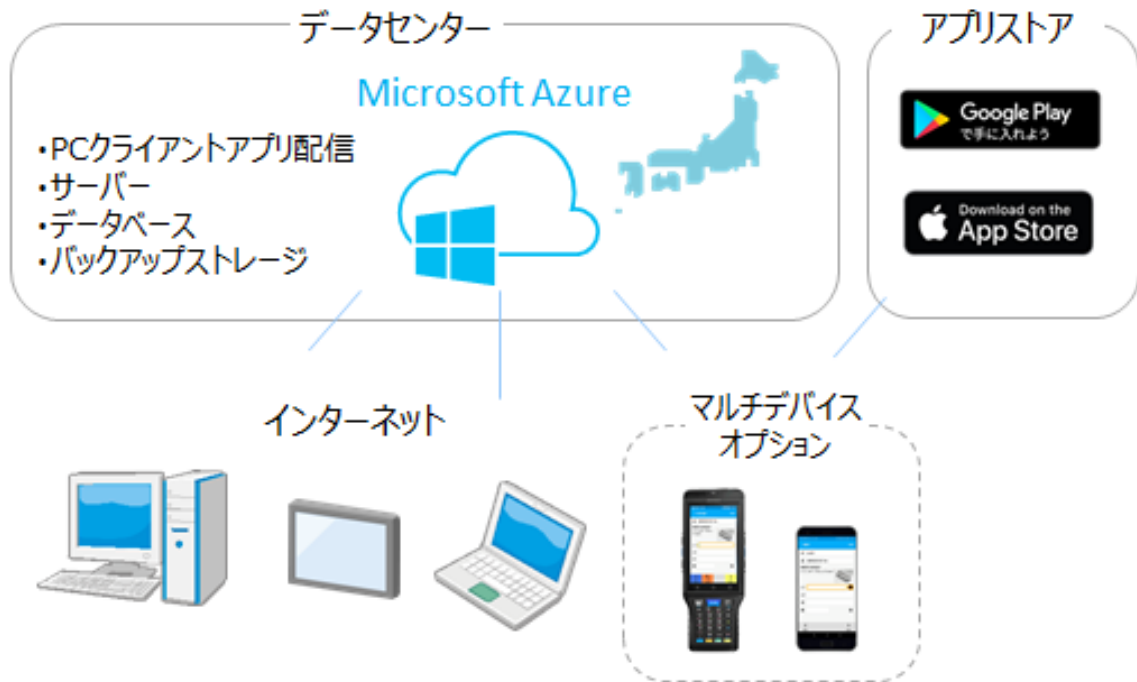
*2・・・現品票ラベルのレイアウトについては、「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

現品票ラベル発行で使用するモバイルプリンターの対応機種・対応ラベルについてはオンラインサポート「構築情報」をご覧ください。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

1-4 「在庫スイートクラウド」と本オプションの構成

「在庫スイートクラウド」の構成を示します。



インターネットに接続された機器でご利用頂けます。

詳しくは、在庫スイートクラウドと、マルチデバイスオプションの動作環境をご確認下さい。

第2章 基本動作

2-1 インストールと起動・終了

[1] インストール（ダウンロード）

お客様はアプリストアから、在庫スイートクラウドアプリをインストールする必要があります。
まずは、アプリストアで「在庫スイート」を検索しダウンロードして下さい。



ヒント！

BHT-1700/1800 については、オンラインサポート「構築情報」の「BHT-1700/1800 向けマルチデバイスオプション標準アプリインストール手順書」をご覧ください。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

ヒント！

Android で GMS 非対応の機種や管理上の理由で Google Play を無効化している場合など、Google Play を経由せずにインストールする方法についてはオンラインサポート「インストールページ（Android スマートフォン）」の【GooglePlay を経由せずインストールしたい場合】をご覧ください。

https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/install_android.htm

[2] 起動とログイン

アイコンをタップし、アプリを起動すると約 1.5 秒起動画面が表示し、ログイン画面となります。アカウント情報をバーコードまたはテンキーで入力します。

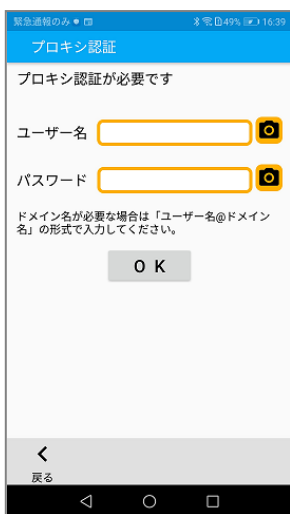


アカウント情報が正しければ、次の画面に進みます。ユーザーの所属倉庫が「全倉庫」で倉庫が複数存在する場合や複数倉庫所属の場合は、ログイン倉庫を指定します。倉庫が決まると、メニューが表示されます。



第2章 基本動作

なお、WiFi にプロキシが設定されている場合、ログイン時にプロキシの認証画面が表示されます。プロキシのユーザーID とパスワードを入力してください（一度入力すると保存されます）。



[3] ログアウトと終了

終了する時は、まずメニュー画面よりログアウトしてください。
(ログアウトしなければ該当ユーザーはログイン中と判断されます)



なお、アプリの終了方法や、デバイスの電源を切る方法は各デバイスや OS の仕様に従います。

[4] 自動ログアウト

一定時間無操作の場合、自動ログアウトし、ログイン画面に遷移します。
引き続き利用する場合は、改めてログインして下さい。

ヒント！

自動ログアウトするまでの時間は、システム設定> モバイル(拡張)> [自動ログアウト]の
[ログアウト時間]で設定が可能です。

2-2 設定

PC側のシステム設定や品目台帳により、本アプリケーションの動作が変更します。

[1] システム設定

本アプリケーションに関連するシステム設定は以下の通りです。

なお、システム設定は「システム管理者権限」を持つユーザーのみ利用出来ます。

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

数量

小数入力 禁止 (整数のみ許可) 許可 小数桁 2

在庫管理(Z)

通常品以外の在庫状態を拡張する

入荷時の在庫状態 通常品 明細入力

出荷時の在庫状態 明細入力

在庫参照(品目別)の初期条件指定 一括引当対象外を出荷不能で算出する

使用項目

品目コード 品目名2

品目台帳-予備項目 品目台帳-注意メッセージ

品目台帳-ロット入力 品目台帳-トレース情報入力

倉庫台帳-同時登録倉庫 倉庫台帳-使用項目

メニュー表示

入荷予定と入荷検品 出荷指示・引当と出荷検品

未入荷の倉庫間出荷

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

第2章 基本動作

タブ	設定項目	モバイル機器側への反映内容
システム運用	小数入力	設定に従います。
システム運用	通常品以外の在庫状態を拡張する	設定に従います。
システム運用	入荷時の在庫状態 明細入力	入荷時に在庫状態を入力する場合は、明細入力を ON に設定します。 その際の初期値は入荷時の在庫状態で指定します。
システム運用	出荷時の在庫状態 明細入力	出荷時に在庫状態を入力する場合は、明細入力を ON に設定します。
システム運用	使用項目 > 品目コード	OFF では、画面に品目コードが表示されません。
システム運用	使用項目 > 品目台帳-注意メッセージ	OFF では、画面に注意メッセージが表示されません。
システム運用	使用項目 > 倉庫台帳-同時登録倉庫	倉庫間出荷時、倉庫間入荷の同時登録を行う場合は ON にします。 ※Pro、Lite のみ
システム運用	使用項目 > 倉庫台帳-使用項目	特定の倉庫でロット、ロケーションを非表示にする場合は ON にします。 また、倉庫間入荷時のロットクリアを行う場合も ON にしてください。(Pro のみ)
システム運用	出荷引当	設定に従い出荷検品メニューを切り替えます。※Pro のみ
項目名	在庫状態 > 色	在庫参照（詳細）画面では、在庫状態の背景色が設定した色で表示されます。
表示	画像ポップアップ > サムネイル画像表示の初期条件	画像を表示する場合は「チェックあり」とします。
入力	品目バーコード読み取り > 標準検索項目	設定した項目が入力の初期状態となります。 ※モバイル機器での切替は可能
入力	QRコード現品票、独自バーコード	設定に従います。
入力	日付入力 > ロット 1、ロット 2	ロット 1・ロット 2 入力時に日付形式の整形や日付入力補助(ドラムロール式)、入荷日の自動入力を使用する場合に設定します。
モバイル設定	メニュー選択 > 各メニュー	使用するメニューを ON にします。
モバイル設定	使用項目 > ヘッダ	仕入先や出荷先の入力を行う場合は ON にします。OFF にするとヘッダ入力を自動でスキップして明細入力のみ行います。
モバイル設定	使用項目 > 明細	ロット 1、ロット 2、ロケーション項目を使用する場合は ON にします。
モバイル設定	項目名	「品」は品目を特定するための入力項目、「L1」はロット 1、「L2」はロット 2 です。 全角 1 文字（半角 2 文字）の任意の文字に変更できます。
モバイル設定	ロケーション初期値	入荷、出荷、棚卸でロケーションを都度入力するか、棚卸だけ前回入力値を初期値とす

第2章 基本動作

		るか、全ての入力で前回入力値を初期値とするかを設定します。
モバイル設定	入荷設定 > 検品対象	入荷検品時、作業対象の伝票を指定する際に「予定伝票番号」「元伝票番号」のいずれかを初期状態とするかを設定します。 ※Proのみ ※モバイル機器での切替は可能
モバイル設定	入荷設定 > 入荷検品 ENT 確定	入荷検品の流通コード、ロケーション、ロット1、ロット2、数量の入力時、ENT 押下で次の項目へ進む場合は ON に設定します。 ※Proのみ
モバイル設定	入荷設定 > 手動による検品済みを許可する	入荷検品で入荷予定数に達しなくても対象行を検品済みにする場合は ON に設定します。※Proのみ
モバイル設定	出荷設定 > 検品対象	出荷検品時、作業対象の伝票を指定する際に「指示/引当伝票番号」「元伝票番号」のいずれかを初期状態とするかを設定します。 ※Proのみ ※モバイル機器での切替は可能
モバイル設定	出荷設定 > 出荷検品 ENT 確定	出荷検品の流通コード、ロケーション、ロット1、ロット2、数量の入力時、ENT 押下で次の項目へ進む場合は ON に設定します。 ※Proのみ
モバイル設定	出荷設定 > 手動による検品済みを許可する	出荷検品で出荷指示数に達しなくても対象行を検品済みにする場合は ON に設定します。※Pro 仮引当のみ
モバイル設定	棚卸設定 > 在庫状態入力をスキップする	棚卸の在庫状態に入力を自動でスキップする場合は ON に設定します。
モバイル設定 (拡張)	キー取込時の処理 > 流通バーコード自動判定を有効にする	設定に従います。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > UPC-A 先頭に"0"を付加する	UPC-A 読み取り時、先頭に 0 を付加する場合は ON に設定します。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > CODE39	CODE39 読み取り時にチェックデジットの照合を行うかどうかを設定します。 照合を行う場合、読み取りデータからチェックデジットを取り除くかどうかも指定します。
モバイル設定 (拡張)	品目バーコード取込後 専用検索項目 の利用 > 各バーコードの種類	特定の種類のバーコードに対して、専用検索項目を利用する場合に設定します。 ITF/GS1 については GTIN-14 の梱包インジケータ違いを検索するかどうかも含めて指定します。
モバイル設定 (拡張)	品目バーコード取込後 標準検索項目 の自動切替 > 各バーコードの種類	特定の種類のバーコードに対して、標準検索項目を自動的に切り替える場合に設定します。
モバイル設定 (拡張)	注意メッセージ > 共通、入荷、出荷	注意メッセージ(共通/入荷/出荷)を表示するかどうかを設定します。

モバイル設定 (拡張)	数量自動カウントアップ > 入荷実績、出荷実績	入荷実績、出荷実績で数量自動カウントアップを有効にするかどうかを設定します。 ※Pro、Liteのみ
モバイル設定 (拡張)	数量自動カウントアップ > 出荷検品	出荷検品で数量自動カウントアップを有効にするかどうかを設定します。 ※Proのみ
モバイル設定 (拡張)	自動ログアウト > ログアウト時間	無操作の状態ですべて自動ログアウトするまでの時間を設定します。
モバイル設定 (拡張)	Android 端末 動作設定	設定に従います。

[2] 品目台帳の画像設定

品目台帳の画像設定

品目台帳には画像1、2、3とサムネイル画像の4つの画像を設定できます。

画像が表示される画面として、主に入力画面と参照画面（品目選択と在庫参照）があります。

各画面で表示される画像は以下の優先順位に従います。

画像表示の優先順位
画像1 > 画像2 > 画像3 > サムネイル画像

ヒント！

本アプリケーションで画像を表示するには、品目台帳の画像設定のほかに、システム設定 > 表示 > [画像ポップアップ] の [サムネイル画像表示の初期条件] を「チェックあり」にする必要があります。

[3] 品目台帳の注意メッセージ設定

品目台帳には、注意メッセージ（共通、入荷、出荷、注意付き現品票の4種類）を設定できます。

注意メッセージ(共通、入荷、出荷)は、入力画面に以下の順で表示されます。

注意メッセージの表示順番
共通 > 入荷 > 出荷

注意付き現品票については、「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

ヒント！

本アプリケーションで注意メッセージを表示するには、品目台帳の注意メッセージ設定のほかに、システム設定＞モバイル設定（拡張）＞[注意メッセージ]の[共通][入荷][出荷]を「チェックあり」にする必要があります。

[4] 設定による画面変更

品目コード、ロット 1、ロット 2、ロケーション、注意メッセージを非表示とすると、対象項目より下に表示される項目はその分上に詰めて表示されます。また、画像が設定されていないと左側の項目の長さが伸び、品目名の行数が減ります。

○全項目表示の場合



○品目コード、ロット 1、ロット 2 非表示、画像なしの場合

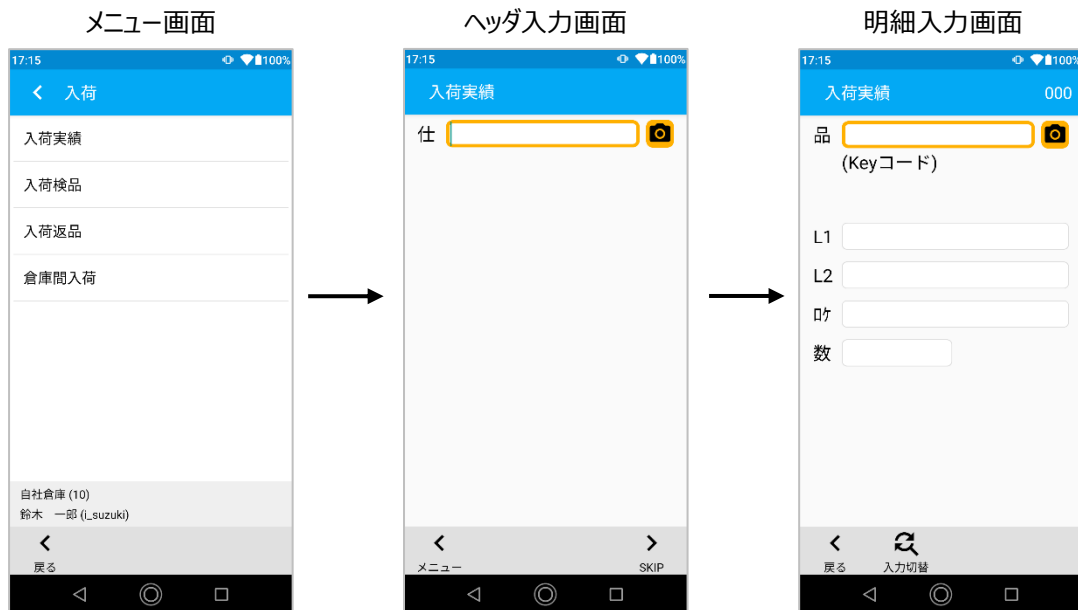


非表示項目が消え、詰めて表示されます。

[5] 設定によるヘッダ入カスキップ

入荷実績・入荷返品や出荷実績・出荷返品の場合、仕入先や出荷先を非表示にすると各メニューからヘッダ入力を自動でスキップして明細入力画面を表示します。仕入先や出荷先を入力しない運用の場合は、非表示にすることをお勧めします。

○入荷実績-仕入先 表示の場合



○入荷実績-仕入先 非表示の場合



ヒント！

仕入先や出荷先を非表示にするには、システム設定＞モバイル設定＞ [使用項目] - [ヘッダ] で各メニューを OFF にしてください。

[6] 音量設定

本アプリでは読み取り時などに音を鳴らします。

Android アプリの音量は以下の方法で調整できます。

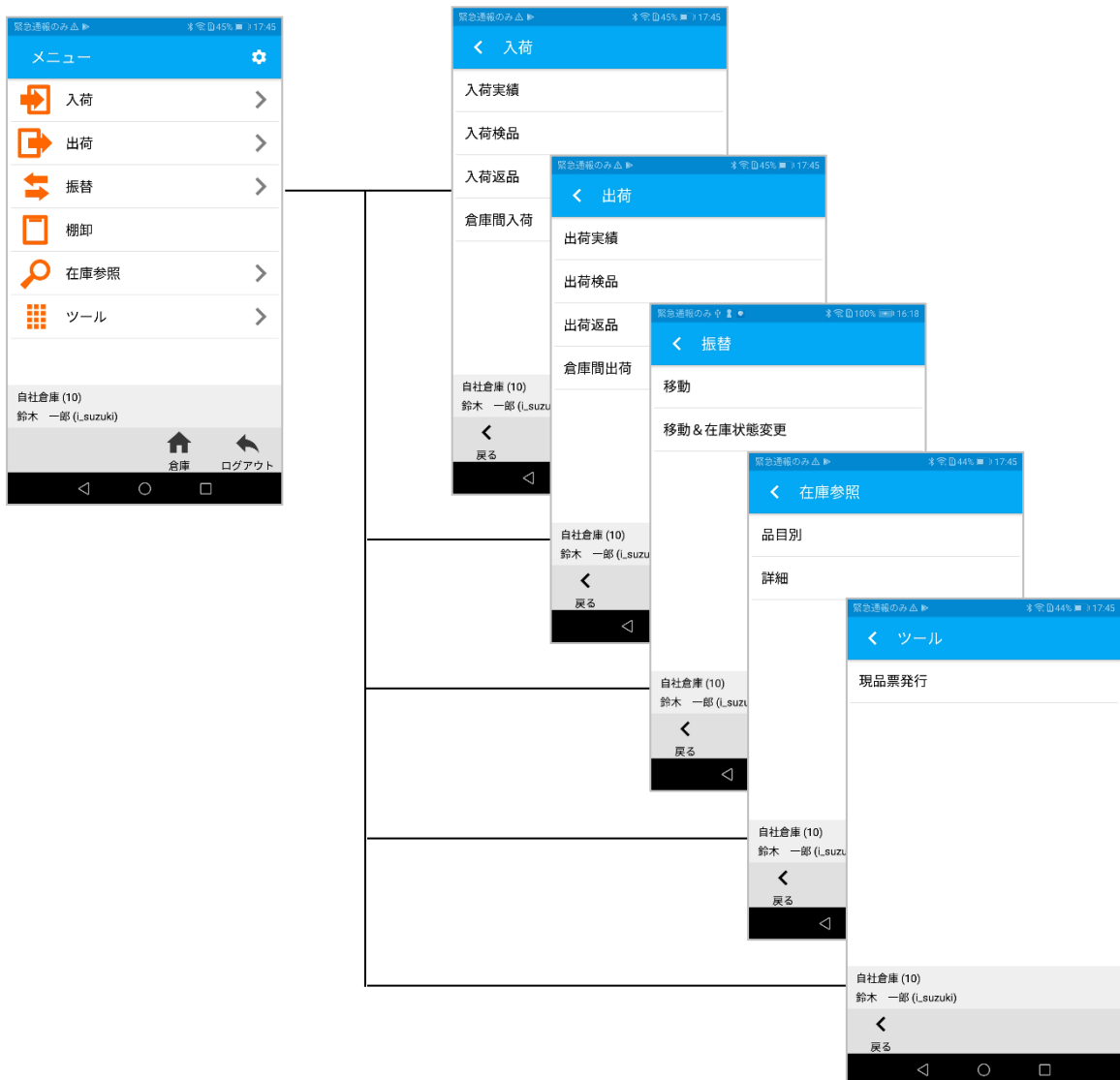
OSの種類	音量の調整方法
Android	設定 > 音 > メディアの音量

2-3 メニュー

本アプリケーションでは、メニューを選択することにより各作業を行います。

[1] 各作業とメニュー

入荷、出荷、振替、在庫参照、ツールは、二階層メニューとなっています。

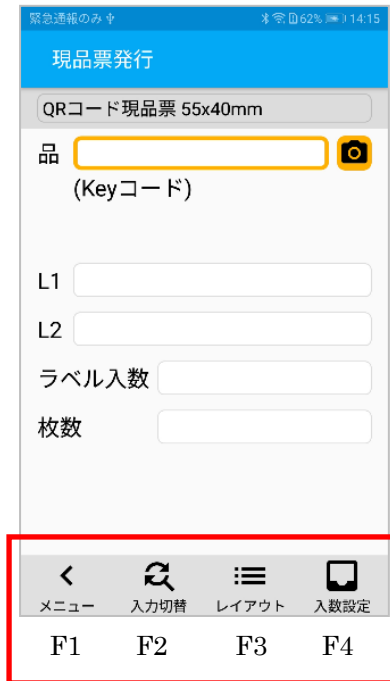


※ハードキーのあるデバイスの場合、上下キー・ENT キーでメニューの選択が可能です。

※上記は全機能を利用した場合のメニューです。エディションやシステム設定により表示されないメニューがあります。

[2] フッターメニュー

フッターメニューが表示されている場合はタップすることで各機能が使用できます。
ファンクションキーのあるデバイスでは F1～F4 キー押下でも同様の操作が可能です。



2-4 データ入力

データの入力方法は、バーコード/QRコード入力と手入力の2通りの入力方法があります。

[1] バーコード/QRコード入力

<ハンディターミナルの場合>

トリガスイッチを押下すると照明光が照射されバーコード/QRコードが読み取れます。

バーコード/QRコードは照明光が点灯している間、読み取ることができます。

但し、桁数や内容など、各項目の入力条件に合わない場合は読み取りません。

<スマートフォンの場合>

入力欄の右側にあるカメラアイコンをタップすることで内蔵カメラによるバーコード読み取りが起動します。

読み取り画面では[切替]ボタンをタップすると読み取り範囲が切り替わります。

読み取り範囲は Key コード/ロット 1・2/ロケーションなどの項目ごとに記憶します。



ヒント！

機種によっては Bluetooth スキャナー(HID)やジャケット一体型スキャナーからの読み取り結果を連携することができます。

[2] マニュアル入力

ハードキーまたはソフトキーボードを使ってデータを入力することも可能です。キーを使った入力をマニュアル入力と呼びます。

入力方法は、各デバイスやソフトキーボードの仕様に従います。

マニュアル入力は以下の場合などで用いられます。

- ・数量入力など、バーコード／QRコードが用意されていないデータ入力の場合
- ・汚れやキズ等の理由でバーコードを読み取れない場合

[3] 入力時の台帳参照

品目・出荷先・仕入先・担当者（ユーザ）・ロケーション・倉庫・理由のコード入力時、入力したコードと台帳の内容を照会して、存在すれば名称を表示します。

（ロケーションは台帳の内容との照会のみ行います。）

台帳に存在しないコードであれば、エラーを表示します。

[4] 入力のスキップ

マニュアル入力した場合、入力内容は ENT キー押下で確定されます。

スキップ可能な項目の場合は、データ未入力状態で ENT キーを押下するとスキップして、カーソルが次の項目に移動します。

また、スキップ可能な入力項目では [SKIP] ボタンが現れます。[SKIP] ボタンをタップしても同様の動作となります。

2-5 品目の入力

[1] 設定別の品目入力

在庫スイートクラウドでは、品目を特定するコードは Key コードですが、Key コードが直接バーコード化されている運用の他に、品目コードがバーコード化されている運用にも対応します。

品目を特定するバーコードを読んだ際の（標準的な）検索対象が Key コードなのか品目コードなのかは、システム設定の「標準検索項目」に従います。

<Key コード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合には「Key コード」入力待ち運用となります。

- ・システム運用タブの使用項目で「品目コード」が OFF
- ・システム運用タブの使用項目で「品目コード」が ON で、入力タブの品目バーコード読み取りで「標準検索項目」が「Key コード」



第2章 基本動作

<品目コード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合は〔品目コード〕入力待ち運用します。

- ・システム運用タブの使用項目で〔品目コード〕がONで、入力タブの品目バーコード読み取りで〔標準検索項目〕が「品目コード」



ヒント！

各画面に表示される品目名は、品目台帳の略称が設定されていれば略称、設定されていなければ品目名1 + 半角スペース + 品目名2を表示します。

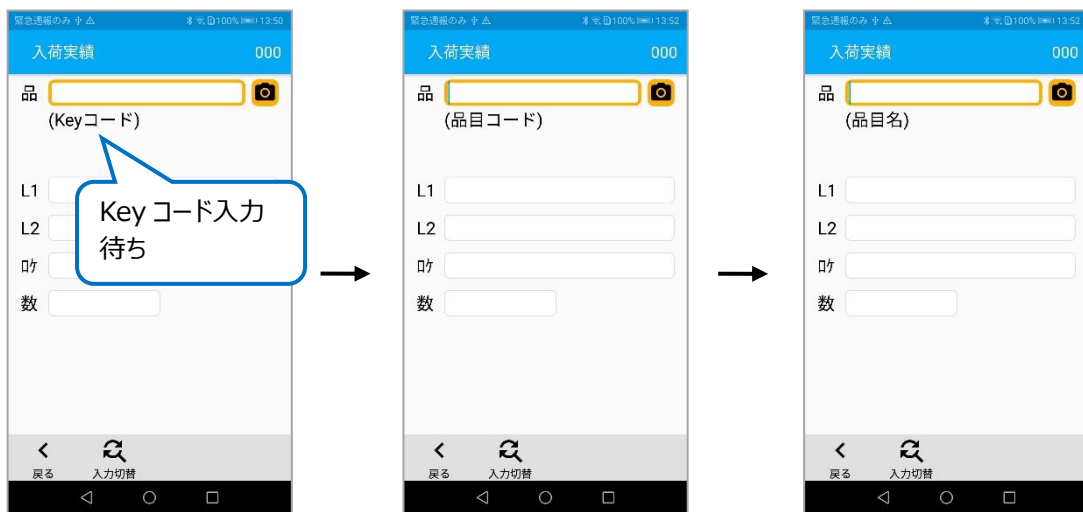
[2] 標準検索項目の手動切替

Keyコード入力待ち運用において、[入力切替] ボタンをタップすることで一時的に品目コードや品目名入力待ちに切り替えることが出来ます。

逆に、品目コード入力待ち運用において、一時的に品目名や Key コード入力待ちに切り替えることが出来ます。

なお、Key コードと品目コードは完全一致、品目名は一部一致で検索します。

<コード切替での入力イメージ>



ヒント！

独自バーコードと QR コード現品票、自動切替が設定されている種類のバーコード、専用検索項目が ON の場合は、本アプリが Key コード入力待ちか品目コード入力待ちかには関わらず、仕様またはシステム設定に従った項目で検索します。

なお、品目名入力待ちの場合はいずれも品目名として検索されます。

ヒント！

品目名はスペースを空けて複数のキーワードを指定することで AND 検索が可能です。

[3] 標準検索項目の自動切替

システム設定により、バーコードの種類で検索項目を自動的に切り替えることができます。
設定されたバーコードの種類を読み取った際は、本アプリが Key コード入力待ちか、品目コード入力待ちかに関わらず、システム設定で指定された項目で検索します。

ヒント！

自動切替は、バーコード種別が認識できる場合のみ利用できます。

[4] 流通バーコードと専用検索項目

専用検索項目を利用すれば、同一品目に複数の JAN コードが存在する場合や、ITF/GS1 (GTIN-14)で複数の梱包インジケータが存在する場合など流通バーコードに対して、より複雑な検索にも対応できます。

各品目に JAN/UPC を最大 3 つ、ITF/GS1(GTIN-14)を最大 3 つ登録でき、それぞれに入数が設定できます。

ハンディターミナルやスマートフォンでは、読み取った際にバーコード種別を識別し、専用項目を検索します。

<標準検索項目>

- ・Key コード
- ・品目コード
- ※PCでも検索可能

<専用検索項目>

- ・JAN/UPC 1～3
- ・ITF/GS1(GTIN-14) 1～3
- ※マルチデバイスオプションのみ利用可

ヒント！

専用項目を使用する場合は、システム設定> モバイル設定(拡張)> [品目台帳-JAN/UPC] または[品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)]を ON に設定してください。

ヒント！

JAN/UPC の場合は、専用項目のほかに標準項目もあわせて検索します。
また、GS1 の読み取りについては「2 - 1 1 GS1-128/GS1 Databar について」をご覧ください。

ヒント！

ITF/GS1(GTIN-14)の場合、システム設定 [品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)] と共に [インジケータ違いも検索する] を ON にすることで、読み取った GTIN-14 に一致する品目が無かった際に異なる梱包インジケータの品目も検索することができます。(入数は無しになります)

例：GTIN-14「04912345123459」を読み取ったが、品目台帳の ITF/GS1(GTIN-14) 1～3 には登録されていなかった

⇒ 梱包インジケータ(先頭文字)が 0 以外のものを検索し、「14912345123456」の品目がヒット

ヒント！

BHT-1700/1800 以外のハンディターミナルでの読み取りやスマートフォンの Bluetooth バーコードスキャナー経由での入力はキーボード扱いとなります。

バーコード種別の自動識別を行いたい場合は、システム設定>モバイル設定(拡張)> [流通バーコード自動判定] を ON に設定してください。

[5] 検索が複数ヒットした場合

品目コード、品目名、専用検索項目を読み取った場合は複数の品目がヒットすることがあります。その時は、品目選択画面が表示されますので、該当のアイテムをタップし決定します。

<品目選択画面イメージ>



2-6 ロケーション・ロット入力有無の設定

[1] ロケーション入力の設定

設定は全体設定と、倉庫毎の設定があります。

全体設定は必ず設定する必要があります。

倉庫毎の設定は必要に応じて設定します。

いずれかの設定で OFF ならば、ロケーション入力は OFF となります。

	全体設定	倉庫毎の設定
設定の必要性	あり	任意
設定箇所	・システム設定> モバイルタブ 使用項目	・システム設定> システム運用タブ [倉庫台帳-使用項目]を有効 ・倉庫台帳の使用項目

[2] ロット入力の設定

設定は全体設定と、倉庫毎の設定、品目毎の設定があります。

全体設定は必ず設定する必要があります。

倉庫毎の設定と品目毎の設定は必要に応じて設定します。

いずれかの設定で OFF ならば、ロット入力は OFF となります。

	全体設定	倉庫毎の設定	品目毎の設定
設定の必要性	あり	任意	任意
設定箇所	・システム設定 > モバイルタブ 使用項目	・システム設定 > システム運用タブ [倉庫台帳-使用項目] を有効 ・倉庫台帳の使用項目	・システム設定 > システム運用タブ [品目台帳-ロット入力]を有効 ・品目台帳のロット1 入力、 ロット2 入力

※品目毎の設定は、現状 iOS 用アプリのみ対応しています。

iOS と Android で動作を合わせたい場合は品目毎の設定を使用しないでください。

2-7 ロットの入力

[1] 日付形式の整形

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を「YYYY/MM/DD」「YYYY/MM」「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれかに設定すると、ロット入力時に指定の形式に自動整形されます。

例：“20201125”を入力 → “2020/11/25”に整形

ヒント！

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を「YYYY/MM/DD」、用途を「使用期限」に設定した場合、ロットに年月形式の値を入力するとその月の末日を付加して自動整形されます。

例：“202011”を入力 → “2020/11/30”に整形

ヒント！

現品票 QR コードや独自バーコード、GS1-128/GS1 Databar の読み取りについても、ロットの情報が含まれている場合は指定の形式に自動整形されます。

[2] 日付入力補助

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を設定(「なし」以外)した場合、ロット入力時に日付入力補助機能を使用できます。



[3] 入荷日自動入力

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの用途を「入荷日」に設定した場合、入荷実績・入荷検品・現品票発行(QRコード)で対象ロットに当日の日付が自動入力されます。

ただし、QRコード読み取り時や在庫転記時などのロットがセットされる操作を行った場合は、そのデータが優先的にセットされます。

また、入荷検品では、入荷予定で指定されているロットが自動入力される日付と一致している場合のみ自動入力され、一致していない場合は対象ロットの入力が必要となります。

2-8 在庫状態の入力

[1] 在庫状態入力の必要性

本サービスは状態別での在庫管理が可能です。

ノーマルな入荷（入荷実績、入荷検品）、出荷（出荷実績、出荷検品）は、在庫状態を指定する／しないを設定できます。

その他のメニューでは在庫状態を指定します。

ヒント！

通常の入出荷で「通常品」以外の在庫を扱う場合は、在庫状態の明細入力＝ありで運用します。

[2] 在庫状態の自動入力と変更

<管理中在庫に対する処理（出荷検品、棚卸を除く）>

「入荷返品」「移動」「倉庫間出荷」「出荷実績」は管理している在庫に対する処理です。

在庫状態の入力前に入力している情報（品目、ロット、ロケーション）から PC 在庫を検索し、その結果により動作が異なります。

既に入力している情報での在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
ヒットせず	カーソルは在庫状態、初期値「通常品」。	全ての在庫状態
1つの在庫状態だけヒット	該当の在庫状態を自動入力し次に進む。	ヒットした在庫状態
複数の在庫状態がヒット	ヒットしたうち優先順位の高いものを自動入力し次に進む。	

※優先順位：通常品>不良品>修理中>確保>状態4>状態5>・・・>状態9

<管理外在庫に対する処理>

「出荷返品」は管理外の在庫に対する処理です。なお、「入荷実績」「入荷検品」は設定に従います。

既に入力している情報での在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	カーソルは在庫状態、初期値「通常品」。	全ての在庫状態

第2章 基本動作

<出荷検品に対する処理>

「出荷検品」は管理している在庫に対する処理です。

「出荷指示」では、在庫状態を必ず指定する必要があります。

そのため、「出荷検品」では、指示と同じ在庫状態のみを入力することができます。

既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	SKIP で次の項目へ進む。	—

<棚卸に対する処理>

「棚卸」は管理している在庫に対する処理です。

既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	「通常品」を自動入力し次に進む。	全ての在庫状態

[3] 在庫状態入力操作

[変更] ボタン、または右側にある▼アイコンをタップすると在庫状態を変更できます。

変更

キャンセル

SKIP (変更なし) ↓ ↑ 戻る

状態を選択し
次に進む

2-9 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力

[1] 入力時の在庫参照とその活用法

入荷実績や入荷検品を登録する際、品目を入力すると、その品目の在庫情報を確認することが出来ます。[在庫] ボタンのタップでロケーションやロット、在庫状態別の在庫が一覧表示されます。

入荷の際、現在の置き場所が確認できます。

以下の例は、

- ・ロット 1=L0039、ロケーション=B-02 に 72 個、
 - ・ロット 1=L0043、ロケーション=A-01 に 1,200 個、
 - ・ロット 1=L0043、ロケーション B-02 に 800 個
- 同じ品目をなるべく同じ場所に保管する運用に役立ちます。

ロット1 ロケーション	ロット2 数量	状態
L0039 B-02	72 個	通常品
L0043 A-01	1,200 個	通常品
L0043 B-02	800 個	通常品

転記

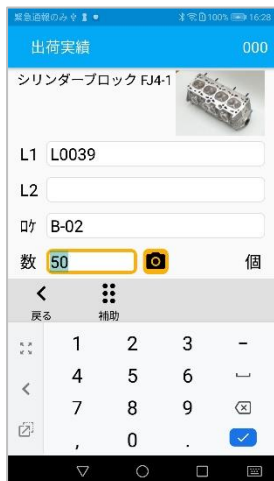
なお、在庫参照画面で表示される数量は「現品数」です。
また、推奨ロケーションの場合は、ロケーションの背景が赤となります。

タップ等で該当在庫を選択し、[転記] ボタンをタップすることで元画面に転記入力も出来ます。

ロット 1、2 やロケーションなど、数量以外の全ての情報を一括で転記入力されますので、既に在庫されているものと同じ情報を入力する際にご利用下さい。(*1) (*2)

第2章 基本動作

- *1・・・振替-移動及び移動&在庫状態変更では、送り先ロケーション入力で在庫転記を行うとロケーションのみ転記されます。
- *2・・・出荷実績・入荷返品・移動では、在庫を転記すると数量入力時に在庫の数量を初期表示します。必要に応じて数量の変更が可能です。



ヒント！

在庫の数量は全選択された状態で初期表示されます。

変更する場合は表示された数量をクリアしなくても、そのまま入力することで数量が上書き入力されます。

[2] 推奨ロケーション入力

同じ品目は、出来るだけ同じ場所に保管する運用では、在庫スイートクラウドの「品目台帳」に推奨ロケーションを設定しておくことと更に便利です。

品目入力後、ロケーション入力時に [推奨ロケ] ボタンをタップすると自動的に推奨ロケーションが入力されます。

表示されたロケーションに沿って在庫を保管することでモノの分散を防ぐことができます。



所定の置き場所（推奨ロケーション）が一杯で置けなかった場合は、別のロケーションに保管します。その際は、実際に保管したロケーションに変更して下さい。

ヒント！

[推奨ロケ] ボタンは、ログイン倉庫に対して該当品目に推奨ロケーションが設定されている場合のみ表示されます。

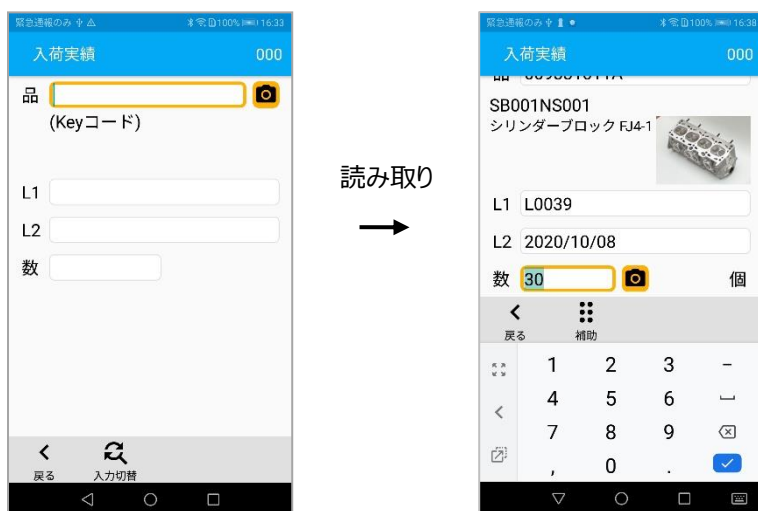
2-10 QRコード現品票とバーコード現品票

[1] QRコード現品票

「在庫スイートクラウド」では、独自の QR コード現品票を発行できます。

QR コード現品票には、バーコード・品目コード・品目名・ロット1・2・数量といった情報が盛り込まれています。「品」にカーソルがある状態で、QR コード現品票を読み込むと、これらの情報が一括で入力されます。

<QRコード現品票の入力イメージ>



数量が初期表示されている場合は、ENT キー押下で表示の数量が入力されます。

ヒント！

QRコード現品票を読み込むには、システム設定> 入力> [QRコード現品票]を ON に設定してください。

上記の設定が OFF の場合や QRコード現品票のフォーマットと異なる QRコードを読み込んだ場合、読み込んだ内容がそのまま入力されます。

[2] ロット1、ロット2非表示時

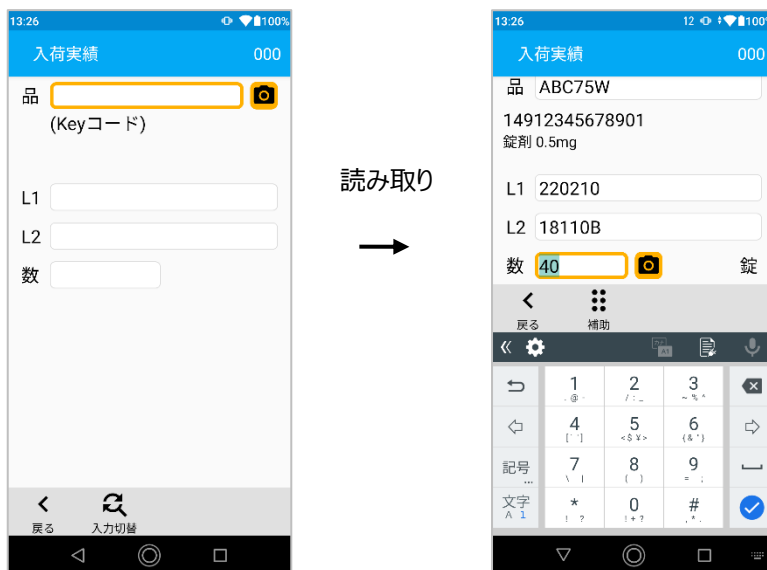
ロット1、またはロット2を非表示で運用している際、非表示項目にデータがセットされている QRコード現品票を読み取るとエラーとなります。

2-1-1 GS1-128/GS1 Databar について

[1] GS1-128/GS1 Databar の読み取り

「在庫スイートクラウド」では、GS1-128/GS1 Databar の読み取りに対応しています。GS1-128/GS1 Databar には、GTIN-14・有効期限・ロット・シリアル・数量などの情報が含まれています。「品」にカーソルがある状態で、GS1-128/GS1 Databar を読み込むと、これらの情報が一括で入力されます。

<GS1-128/GS1 Databar の入力イメージ>



数量が初期表示されている場合は、ENT キー押下で表示の数量が入力されます。

ヒント！

読み取り対象の GS1 アプリケーション識別子については
「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

[2] GS1-128 の2段バーコード読み取り

マルチデバイスオプションでは GS1-128 の2段バーコード読み取りに対応しています。

1 段目と2 段目のバーコードを連続で読み取ると、GS1-128 の情報が一括で入力されます。

<GS1-128 2 段バーコードの入力イメージ>



ヒント！

読み取り可能な GS1-128 の2 段バーコードの条件については「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

2-12 数量のキー入力

[1] 数量入力とソフトウェアキーボード

数量入力欄にカーソルが移動した際、通常はソフトウェアキーボードが自動的に起動します。

テンキーのあるデバイスで操作しやすいように、システム設定でソフトウェアキーボードの自動起動を OFF にすることも可能です。



ヒント！

システム設定> モバイル(拡張)> [Android 端末 動作設定]の[数量入力ソフトウェアキー自動起動]で ON/OFF の設定が可能です。

なお、BHT1700 では、数量入力ソフトウェアキー自動起動は常に OFF となります。

[2] 数量の補助入力

数量入力で「補助」ボタンをタップすると数量詳細入力画面となり、入数、箱数、バラ数を入力すると、
 $入数 \times 箱数 + バラ数$ を計算します。

品目台帳に入数が設定されている場合は、入数が既に設定されている状態で画面が表示されます。
 その際、「入数変更」ボタンをタップすると入数を変更する事ができます。



2-13 数量の自動カウントアップ

セルフレジのようにアイテムについてのバーコードや JAN コードを読み取ることで、アイテムが入力されつつ数量も加算される機能です。

なお、ロット管理を行う場合や、状態を指定する必要のある返品・振替・倉庫間出荷メニューでは使用できません。

[1] 入荷実績・出荷実績

入荷実績・出荷実績では、システム設定> モバイル(拡張)> 数量自動カウントアップ [入荷実績・出荷実績]を ON にすると、品目の連続入力で数量の自動カウントアップが可能となります。

入数が設定されている場合は入数、それ以外は 1 を合計数に加算します。

(詳しくは、[3] 加算する数量について 参照)

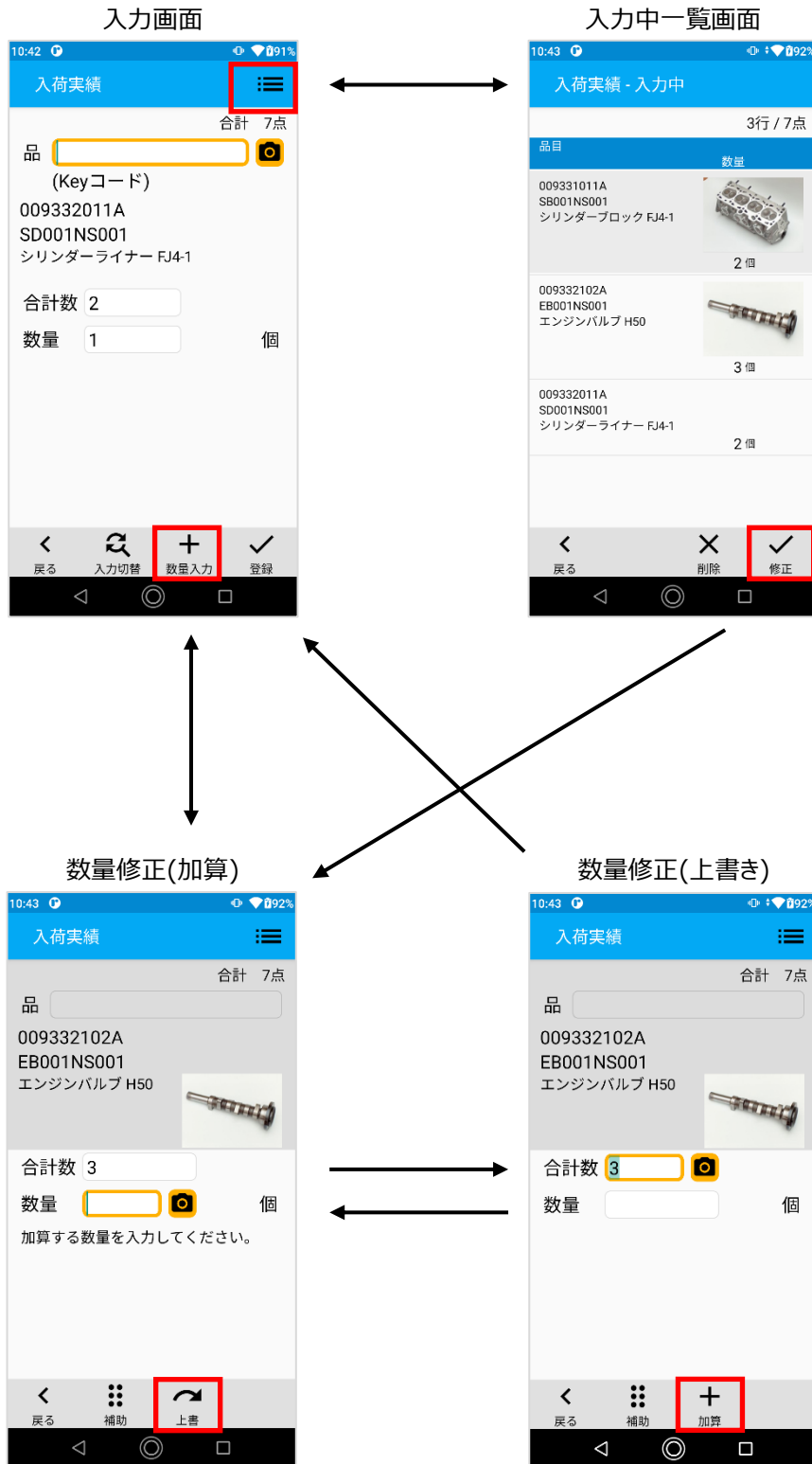
また、品目を入力後 [数量入力]をタップして加算する数量の入力や合計数を上書きすることも可能です。

[登録]をタップすると、伝票登録を行います。



第2章 基本動作

入荷実績・出荷実績の数量自動カウントアップがONの場合、入力中の明細情報を確認できます。品目を入力後、右上のアイコンをタップすると、入力中画面が表示されます。明細を選択して、明細の修正(数量のみ)や削除が可能です。



[2] 出荷検品

出荷検品では、システム設定> モバイル(拡張)> 数量自動カウントアップ [出荷検品]を ON にすると、同じ品目の連続入力で数量の自動カウントアップが可能となります。

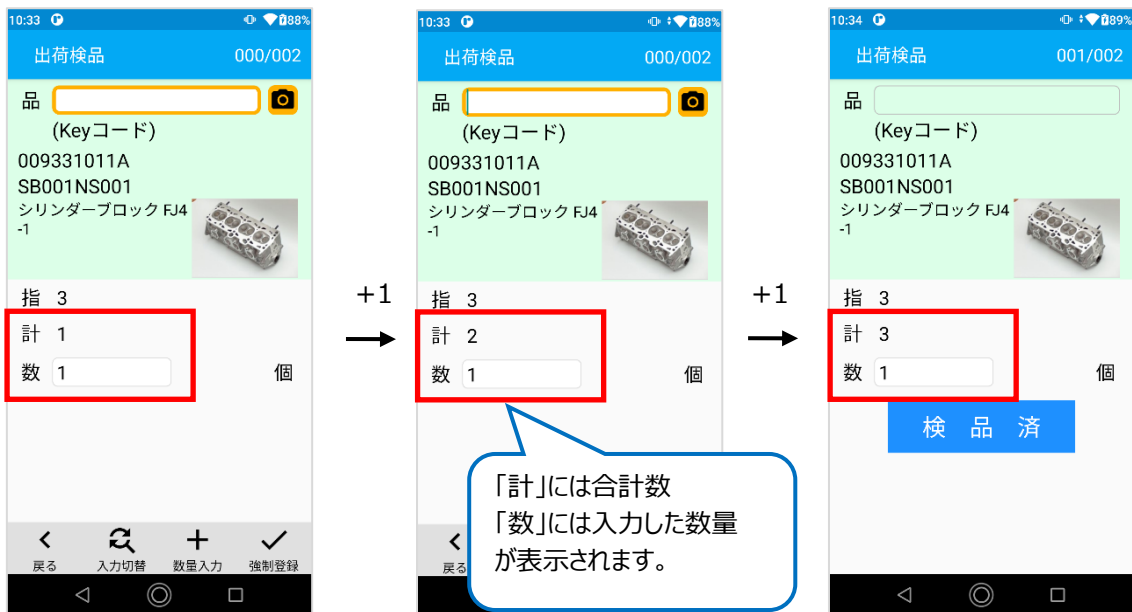
入数が設定されている場合は入数、それ以外は 1 を合計数に加算します。

(詳しくは、[3] 加算する数量について 参照)

また、一度品目を入力後 [数量入力]をタップして加算する数量を入力することも可能です。

合計数が指示数に達すると、明細が検品済となります。

(出荷検品について詳しくは、2 - 1 5 入荷検品・出荷検品 (仮引当) の操作 または 2 - 1 6 出荷検品 (本引当) の操作 参照)



[3] 加算する数量について

数量自動カウントアップの場合、Key コードや品目コードを入力すると、品目台帳の入数の設定によらず基本的には「1」が合計数に加算されます。以下の場合に入数に加算されます。

(1) 特殊品目バーコード

システム設定> 入力> [QRコード現品票]・[独自バーコード]を ON にした場合、QRコード現品票・独自バーコードを読み取ると、各バーコードに含まれている以下の入数に加算されます。

※バーコードに入数が含まれていなければ「1」が加算されます。

特殊品目バーコード	入数
QRコード現品票	ラベル入数
独自バーコード	数量

(2) 専用検索項目

システム設定> モバイル(拡張)> [品目台帳-JAN/UPC]・[品目台帳-ITF/GS1(GTIN14)]を ON にした場合、以下のバーコード種別のバーコードを読み取ると設定した入数に加算されます。

※入数が設定されていない場合は「1」が加算されます。

バーコード種別	入数
JAN/UPC	品目台帳- JAN/UPC コード 1～3 入数
ITF	品目台帳- ITF/ GS1(GTIN-14)コード 1～3 入数
GS1(GTIN-14)	GS1 に数量が含まれる場合は数量、それ以外は品目台帳- ITF/GS1(GTIN-14) コード 1～3 入数

2-14 実績データの登録

[1] 実績伝票の登録と破棄

入荷実績、出荷実績、移動では、品目と数量を入力した状態では、まだ登録されていません。

1件以上入力すると、[登録] ボタンが表示されます。[登録] ボタンをタップすることにより入力した情報が登録されます。

1件以上入力した後、登録せずに[戻る] ボタンをタップした場合は、破棄の警告メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、登録せずにヘッダ情報入力画面に戻ります。



[2] 伝票日付と登録日時

伝票日付、伝票登録日時とも登録を完了したタイミングより決定します。サーバー側の時刻により決まり、モバイル機器がもつ時計機能には依存しません。

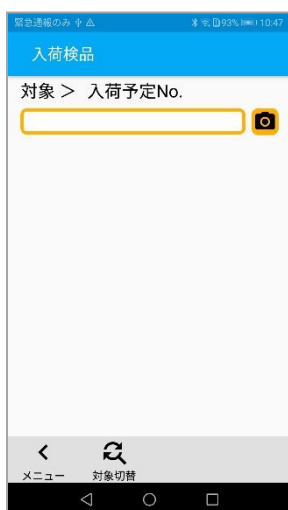
2-15 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作

[1] 対象伝票の指定方法

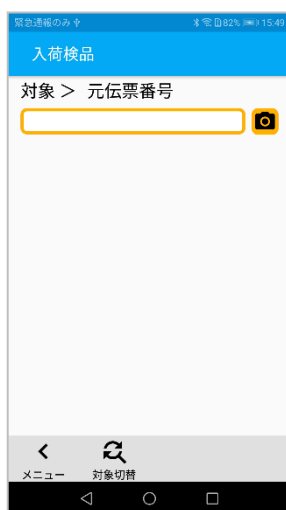
入荷検品は、在庫スイートクラウド Pro へ登録された「入荷予定伝票」に沿って作業を行います。最初に入荷予定伝票の作業を行うかをモバイル機器で指定しますが、その方法として2通りあります。

1つは、在庫スイートクラウド Pro から発行する入荷予定明細書のバーコード（=入荷予定伝票番号）を読み取る方法。2つ目は、発注書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する方法。これらはシステム設定により、初期状態としてどちらのデータの入力待ちかを設定できます。また、一時的に切り替えることも可能です。

＜入荷予定明細書入力待ち状態の画面＞ システム設定が
「検品対象」＝ 予定伝票番号



＜元伝票番号入力待ち状態の読み取り画面＞ システム設定が
「検品対象」＝ 元伝票番号



出荷検品（仮引当）も入荷検品と同じく、出荷指示伝票に沿って作業を進めます。出荷指示明細書のバーコード（=出荷指示伝票番号）を読み取るか、受注や売上など上位システムで発行される帳票＝「元伝票番号」を入力し、作業を行う出荷指示伝票を指定します。

なお、以降の説明は入荷検品で説明しますが、出荷検品（仮引当）も同様ですので、適宜読み替えて下さい。

[2] 検品作業

作業すべき入荷予定伝票が決定すると、品目などの明細入力待ちとなります。
入力順は特に問いません。

明細を入力し、対象の入荷予定明細行が決定すると、入荷予定に指示されている項目（数量は除く）の背景色が青くなります。青くなった項目は指示と一致しないとエラーとなります。

数量を入力すると、入荷検品伝票に登録されます。

- 予定数(または残数)と数量が一致すれば該当の入荷予定明細行は処理済となります。
- 数量が予定数(または残数)に満たない場合は、更に入力が可能です。その場合、残数(=予定数 - 実績合計数)が表示されます。システム設定により、モバイル機器側の操作で処理済みとすることも可能です。
- 数量が予定数(または残数)を超える場合は、登録前に警告が表示されます。強制入力すると該当の入荷予定明細行は処理済となります。

[3] 検品の登録

入荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに入荷検品伝票に登録されています。

<未着手の入荷予定伝票のイメージ>

入荷予定伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	

作業状態 = 「未作業」です。



<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2		明細 3	処理済
明細 3	処理済		

リアルタイムに入荷検品伝票に登録され、在庫計上されます。

作業状態 = 「一部済」となります。



<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2	処理済	明細 3	処理済
明細 3	処理済	明細 2 - 1	処理済
		明細 2 - 2	処理済

入荷予定伝票の内容が全て処理済となると、作業状態 = 「完了」となります。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、実績は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の入荷予定伝票や入荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での入荷検品

同じ入荷予定伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、入荷予定伝票番号または元伝票番号を入力して作業を行います。同一日付の作業であれば同じ入荷検品伝票に追記されます。

2-16 出荷検品（本引当）の操作

[1] 対象伝票の指定方法

モバイル機器の出荷検品は、在庫スイートクラウド Pro で引き当てられた結果＝「出荷引当伝票」に沿って作業を行います。最初にどの出荷引当伝票の作業を行うのかをモバイル機器で指定しますが、その方法として3通りあります。

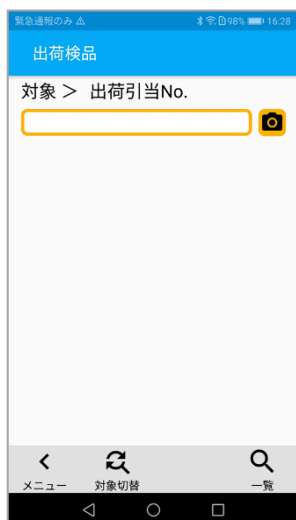
1つは、在庫スイートクラウド Pro から発行するピッキングリストのバーコード（＝出荷引当伝票番号）を読み取る方法。2つ目は、納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する方法。これらはシステム設定により、初期状態としてどちらのデータの入力待ちかを設定できます。また、一時的に切り替えることも可能です。

最後は、何も入力せず ENT キー押下または「一覧」ボタンをタップで、作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定する方法です。

<ピッキングリスト入力待ち状態の画面>

システム設定が

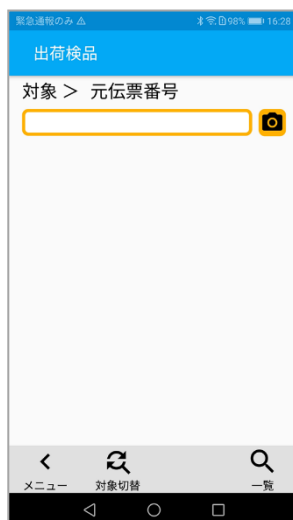
「検品対象」＝引当伝票番号



<元伝票番号入力待ち状態の読み取り画面>

システム設定が

「検品対象」＝元伝票番号



第2章 基本動作

<空 ENT/「一覧」ボタン押下で出荷引当伝票呼び出し>



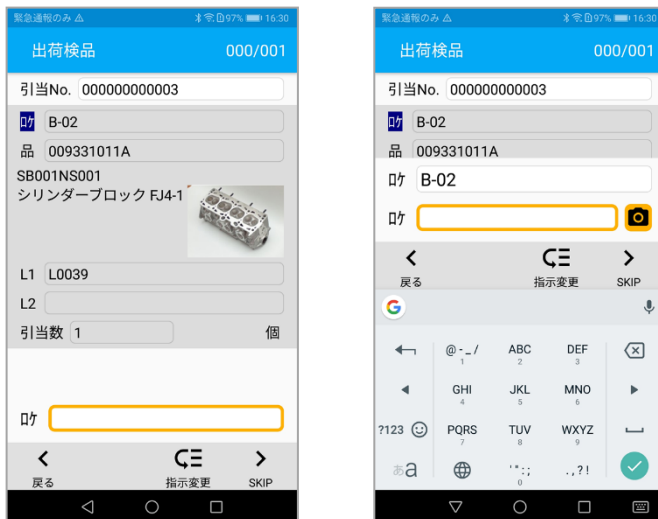
[2] 検品作業

作業すべき出荷引当伝票が決定すると、モバイル機器の画面に指示が表示されます。

未着手の明細のうち、ロケーション> 明細行 順で表示されます。

入力を指示されている項目は色が変わります。

ソフトウェアキーボードを表示された場合は、入力欄の上にも指示された項目が表示されます。



違う明細から作業したい時は [指示変更] ボタンをタップし、指示された引当明細を飛ばします。

[3] 検品の登録

出荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに出荷引当伝票に登録されています。モバイル機器への画面指示は、明細単位で着手されていない明細行が表示されます。

<未着手の引当伝票のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	



<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	

この時点では済/未着手に関わらず、在庫は引当のままです。



<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷検品伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	処理済

出荷引当伝票の内容が出荷検品伝票となり、出荷が確定します。

この時点で、在庫が引落されます。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、処理済情報は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の出荷引当伝票や出荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での出荷検品

同じ出荷引当伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、ピッキングリストまたは元伝票番号を入力して作業を行います。画面に表示される指示は未着手の明細行が表示されます。

[5] 元伝票番号検索について

出荷検品（本引当）で元伝票番号を入力（バーコード読み取り含む）した際、内部の検索処理としては2通りあります。

- ・完全一致検索
- ・先頭の0を外して検索（入力内容に先頭0があればそれらを外して検索）

ログイン直後は、まず完全一致検索を行い、ヒットしなければ、先頭の0を外して検索します。先頭の0を外して検索しヒットした場合、次回は先に先頭の0を外して検索し、ヒットしなければ完全一致検索を行います。

このことより、完全一致はもちろん、バーコードだけ固定長・先頭0埋めのパターンにも対応します。

パターン	登録内容例	バーコード内容例	検索結果
完全一致タイプ	123	123	ヒット
バーコードのみ固定長・先頭0埋め	123	000123	ヒット

2-17 倉庫間出荷の操作

[1] 倉庫間入荷の同時登録

倉庫間入荷の同時登録を有効にすると、倉庫間出荷登録時に対応する倉庫間入荷も同時に登録します。

その場合、ヘッダ確認画面に「倉庫間入荷の同時登録」と表示されます。

また、出荷検品(伝票区分：倉庫間出荷)の検品完了画面にも倉庫間入荷の登録についてメッセージが表示されます。



ヒント！

倉庫間入荷の同時登録を有効にするには、以下の設定が必要です。

- ・システム設定＞システム運用＞使用項目 [倉庫台帳-使用項目] を ON
- ・倉庫台帳にて出荷元または出荷先倉庫の「同時登録倉庫」を ON

2-18 件数が多い場合について

[1] 入力画面の明細件数について

入力画面での明細の最大件数は 999 件です。

[2] 在庫参照について

品目を特定しても、ロケーションやロット、在庫状態の違いで複数の在庫がヒットすることがあります。在庫参照画面ではヒットした件数が多い場合、在庫状態>ロット1>ロット2>ロケーションの昇順で先頭 300 件を表示します。

[3] 品目選択について

品目コードや品目名を読み取った場合は複数の Key コードがヒットすることがあります。品目選択画面ではヒットした件数が多い場合、Key コードの昇順で先頭 30 件を表示します。

[4] 元伝票番号について

入荷検品や出荷検品で元伝票番号を入力した場合、複数の入荷予定や出荷指示がヒットすることがあります。

対象選択画面ではヒットした件数が多い場合、伝票番号の昇順で先頭 999 件を表示します。

ヒント！

在庫参照、品目選択、元伝票番号において、最大表示件数を超える場合は件数表示が赤字となります。

第3章 入荷

3-1 入荷実績

品目の入荷情報を登録します。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは仕入先を入力します（任意）。入力された仕入先が台帳に存在しなければエラーとなります。システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

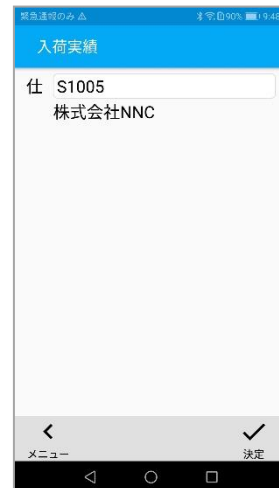
ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

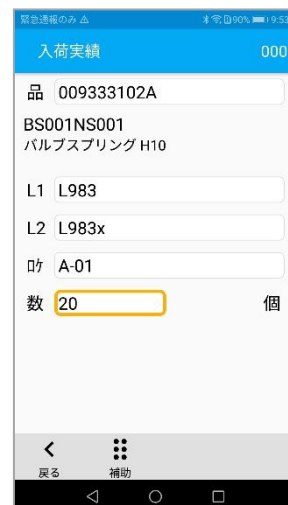
○ヘッド

入力項目		
仕入先コード		
表示項目		
仕入先名		



○明細

入力項目		
品目	必須	2-5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-5 品目の入力 参照
品目名		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ



3-2 入荷検品

予め用意された入荷予定伝票に沿って入荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。(詳しくは2-15 入荷検品・出荷検品(仮引当)の操作参照)

- 入荷予定明細書のバーコードを読み取る
- 発注書など、上位システムで発行される帳票の番号 = 「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を入力します。

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに入荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2 - 1 5 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2 - 1 5 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
仕入先		
摘要		

○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
クォン		
在庫状態	必須	
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 5 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
クォン		
予定数		

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

3-3 入荷返品

品目の入荷返品情報を登録します。この処理で在庫が減ります。在庫状態も指定します。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは仕入先を入力します（任意）。入力された仕入先が台帳に存在しなければエラーとなります。システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッド

入力項目		
仕入先コード		
表示項目		
仕入先名		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-5 品目の入力 参照
品目名		

3-4 倉庫間入荷

品目の倉庫間入荷情報を登録します。この処理で出荷側倉庫の「積送ロケーション」の在庫が入荷側倉庫に移動します。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

倉庫間出荷伝票の伝票番号を入力し、倉庫間入荷伝票の登録を行います。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷伝票番号	必須	
表示項目		
伝票日付		
出荷元倉庫		
摘要		

このスクリーンショットは、モバイルアプリの「倉庫間入荷」画面のヘッダ入力部分を示しています。画面の上部には「対象 > 出荷伝票番号」というラベルがあり、その下に黄色い枠で囲まれた入力フィールドがあります。右側にはカメラアイコンが配置されています。画面下部には「戻る」ボタンと「メニュー」ボタンが確認できます。

このスクリーンショットは、モバイルアプリの「倉庫間入荷」画面のヘッダ入力部分を示しています。入力された情報は以下の通りです：

- 出荷伝票番号: 000000015990
- 伝票日付: 2019/10/25
- 出荷元倉庫: 10:自社倉庫
- 摘要: (空欄)

 画面下部には「戻る」ボタンと「登録」ボタンが確認できます。

第4章 出荷

4-1 出荷実績

出荷する品目を登録します。この処理で在庫が引落されます。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは出荷先を入力します（任意）。入力された出荷先が台帳に存在しなければエラーとなります。システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。*1

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

*1 出荷時の在庫状態 明細入力 が ON の場合は、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を入力します。

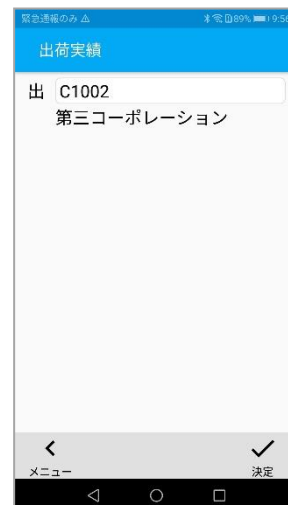
[2] 入力画面

○ヘッド

入力項目		
出荷先コード		本オプションでは直送先入力未対応です。
表示項目		
出荷先名		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態		出荷時の在庫状態 明細入力 ON のみ
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-5 品目の入力 参照
品目名		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ



4-2 出荷検品（仮引当）

予め用意された出荷指示伝票に沿って出荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。* 1

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-15 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作参照）

- 出荷指示明細書のバーコードを読み取る
- 受注や売上など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を入力します。* 2

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

*2 倉庫間出荷または出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合は、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を入力します。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 5 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 5 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
伝票区分		
出荷先／直送先		出荷のみ
出荷先倉庫		倉庫間出荷のみ
摘要		

○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
quantity	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 5 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
在庫状態		倉庫間出荷 または 出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合
quantity		
指示数		
残数		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

(伝票区分：出荷)

(伝票区分：倉庫間出荷)

(伝票区分：出荷)

(伝票区分：倉庫間出荷)

4-3 出荷検品（本引当）

予め用意された出荷引当伝票に沿って出荷作業を行います。この処理で在庫が引落されます。* 1

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の3通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-16 出荷検品（本引当）の操作 参照）

- ピッキングリストのバーコードを読み取る
- 納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する
- 何も入力せずENTキー押下で作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、ロケーション・品目・ロット1・ロット2・数量を入力します。* 2

入力を指示されている項目は色が変わります

全ての指示に対して作業が済むと出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

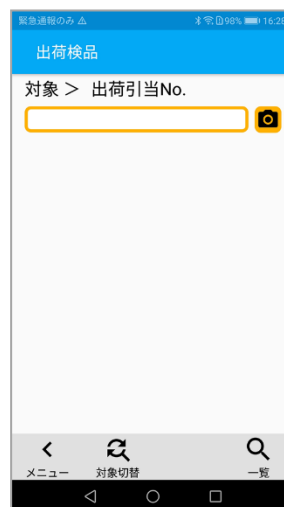
*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

*2 倉庫間出荷または出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合は、ロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態・数量を入力します。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2-16 出荷検品（本引当）の操作 参照
表示項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2-16 出荷検品（本引当）の操作 参照
伝票区分		
出荷先／直送先		出荷のみ
出荷先倉庫		倉庫間出荷のみ
摘要		



(伝票区分：出荷)



(伝票区分：倉庫間出荷)

第4章 出荷

○明細

入力項目		
アクション		システム設定により非表示も可能 *1
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能
L2		*1
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 5 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
在庫状態		倉庫間出荷 または 出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合
アクション		
引当数		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ
数量		

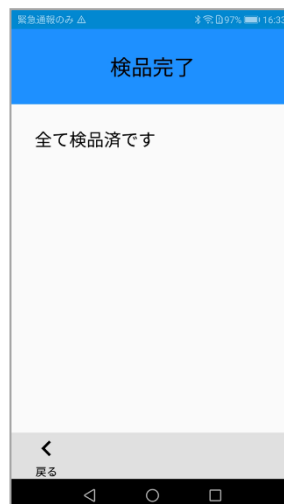
*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。



(伝票区分：出荷)



(伝票区分：倉庫間出荷)



4-4 出荷返品

一旦出荷された品目の返品を登録します。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1) ヘッダ情報入力

まずは出荷先を入力します（任意）。入力された出荷先が台帳に存在しなければエラーとなります。システム設定により、ヘッダ情報入力を自動でスキップすることも可能です。

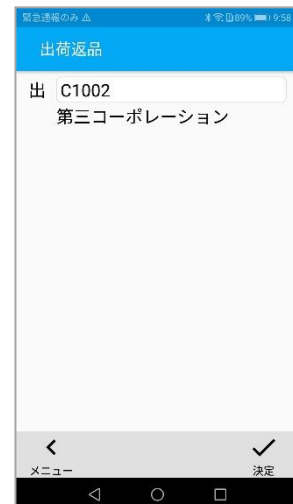
(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷先コード		本オプションでは直送先入力は未対応です。
表示項目		
出荷先名		



○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		



4-5 倉庫間出荷

他の倉庫へ移動する品目を登録します。この処理で在庫が積送中ロケーションへ移動します。

ここでは指示のない実績登録について説明します。出荷検品による登録を行う場合は、「4-2 出荷検品（仮引当）」または「4-3 出荷検品（本引当）」をご覧ください。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは出荷先倉庫を入力します。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

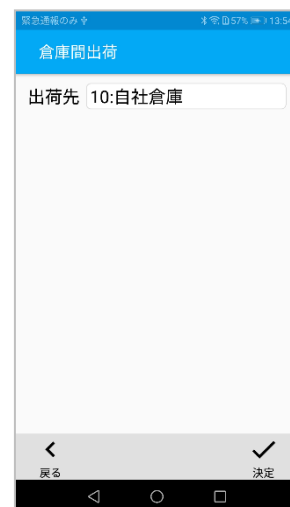
[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷先倉庫	必須	

○明細

入力項目		
品目	必須	2-5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-5 品目の入力 参照
品目名		



第5章 振替

5 - 1 移動

在庫の移動を登録します。この処理で在庫のロケーションが変更されます。
ロケーションが使用項目になっていない場合は本機能は利用できません。

[1] 作業概要

(1) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・状態・送り元ロケーション・送り先ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ 明細

入力項目		
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
在庫状態	必須	
送り元ロケーション		
送り先ロケーション		
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		

5 - 2 移動&在庫状態変更

在庫の移動と在庫状態の変更を登録します。この処理で在庫のロケーション及び在庫状態が変更されます。ロケーションが使用項目になっていない場合、本機能の名称は「在庫状態変更」となります。振替伝票の伝票区分「汎用変更」として登録されます。

[1] 作業概要

(1)変更する在庫の呼び出し

検索条件を入力し、在庫を検索します。
表示された在庫情報から変更する在庫を選択します。

(2)明細情報入力

送り先ロケーション・変更後在庫状態・数量を入力し、最後に登録します。
送り先ロケーション・変更後在庫状態のどちらかは必須入力です。
ロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○在庫選択

入力項目		
倉庫		
品目		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		
分類		
L1		システム設定により非表示も可能。 L1,L2 は日付形式の場合は範囲指定。
L2		
ロケーション		
状態		
表示項目		
倉庫		
品目コードまたはKeyコード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態		
数量		

ロット1 ロケーション	ロット2	数量	状態
2020/09/13 A-01	L983x	100 個	通常品
2020/09/13 B-02	L983x	200 個	通常品
2020/10/01 B-02	L987z	150 個	通常品

第5章 振替

○明細

入力項目		
送り先アクション	必須	システム設定により非表示も可能
変更後在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目		2 - 5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
送り元アクション		
変更前在庫状態		
在庫数		

品 009333102A
 BS001NS001
 ハルブスプリング H10
 L1 2020/09/13
 L2 L983x
 枚 A-01 → B-02
 状 通常品 → 不良品
 数 10 / 100 個

< 戻る 登録 >

第6章 棚卸

6-1 棚卸

棚卸する品目を登録します。この処理でモバイル棚卸数を更新できます。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

ロケーション・バーコード・ロット1・ロット2・状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロケーション・ロット1・ロット2は任意入力です。

[2] 入力画面

入力項目		
ロケーション		最初に入力すると、次回から前回と同じ内容で自動入力。 変更する際は、品目入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。 システム設定により非表示も可能
品目	必須	2-5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態	必須	初期値「通常品」で自動入力。 変更する際は、数量入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。
数量	必須	既に登録されていると、上書／追加の選択画面が表示されます。
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-5 品目の入力 参照 ロット1、2 (L1、L2) が表示での運用において、数量入力の際は非表示
品目名		
論理数		数量入力時のみ
HT実棚		数量入力時のみ

<上書／追加選択画面>

第7章 在庫参照

7-1 在庫参照（品目別）

在庫を Key コードや品目コード、品目名の一部一致で行います。

[1] 作業概要

(1) 検索条件の入力

在庫を確認したい品目情報と対象倉庫を入力します。

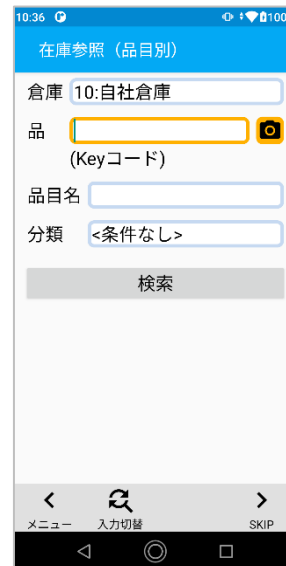
(2) 在庫情報の表示

在庫情報を表示します。

任意の行（品目）を選択すると、数量の詳細情報が表示されます。

[2] 入力画面

入力項目	
倉庫	
品目	2-5 品目の入力 参照
品目名	
分類	
表示項目	
倉庫	
品目コードまたは Key コード	2-5 品目の入力 参照
品目名	
現品数	
出荷指示数	Pro のみ表示
出荷引当数	
出荷不能数	
出荷可能数	
入荷予定残	Pro のみ表示
有効在庫	
発注点	
単位	



7-2 在庫参照（詳細）

在庫を Key コードや品目コード、品目名の一部一致で行います。

[1] 作業概要

(1) 検索条件の入力

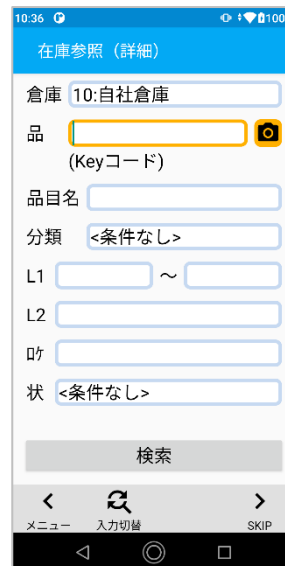
確認したい在庫の検索条件を入力します。

(2) 在庫情報の表示

在庫情報を表示します。検索条件により表示のレイアウトが切り替わります。

[2] 入力画面

入力項目		
倉庫		
品目		2-5 品目の入力 参照
品目名		
分類		
L1		システム設定により非表示も可能。 L1,L2 は日付形式の場合は範囲指定。
L2		
ロケーション		
状態		
表示項目		
倉庫		
品目コードまたは Key コード		2-5 品目の入力 参照
品目名		
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態		
数量		



第8章 ツール

8 - 1 現品票発行

在庫品に貼る現品シール（製品シール）を発行します。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

バーコード・ロット1・ロット2・ラベル入数・枚数を入力し、最後に発行します。

ロット1・ロット2・ラベル入数は QR コード現品票の発行時にのみ入力します。

品目入力時に、ラベルレイアウトの切り替えとラベル入数初期値(QR コード現品票選択時)の設定が可能です。

[2] 入力画面

入力項目		
品目	必須	2 - 5 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ラベル入数		
枚数	必須	
表示項目		
レイアウト名		*1
品目コードまたは Key コード		2 - 5 品目の入力 参照
品目名		


*1・・・QRコード現品票では「ラベル入数の印字」の設定が ON の場合に「ラベル入数の印字あり」を表示します。

(バーコード現品票)

(QRコード現品票)

第9章 設定・確認

9 - 1 設定・確認メニューの呼び出し

設定・確認メニューは、メニュー画面の  をタップして呼び出します。



※デバイス情報メニューは Android アプリのみ表示されます。

9 - 2 プリンター設定

現品票発行で使用するモバイルプリンターの設定を行います。

[1] 作業概要

(1)プリンター選択

Bluetooth でモバイル機器とペアリングを行ったモバイルプリンターを選択します。

[設定]ボタンをタップすると設定を保存します。

[2] 入力画面

入力項目		
プリンター		
表示項目		
設定済プリンター		



9 - 3 QRコード現品票

QRコード現品票の印字内容の設定を行います。

[1] 作業概要

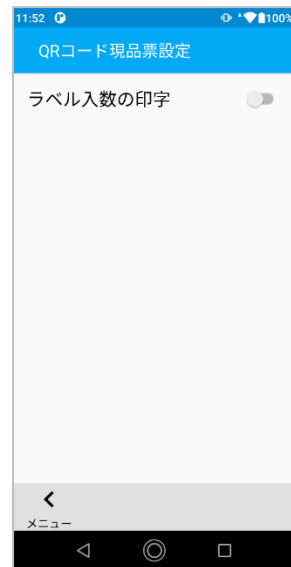
(1)ラベル入数の印字

QRコード現品票にラベル入数を印字するかどうかを指定します。

[設定]ボタンをタップすると設定を保存します。

[2] 入力画面

入力項目		
ラベル入数の印字		



9 - 4 デバイス情報

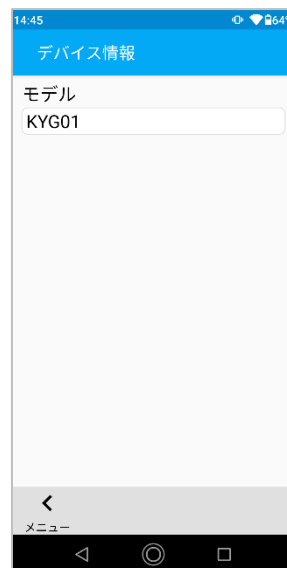
[1] 作業概要

デバイス情報を表示します。

[2] 確認画面

表示項目		
モデル(*1)		デバイスのモデル名称を表示

*1 システム設定> モバイル(拡張)> [Android 端末 動作設定]を行う場合は、この画面に表示されるモデル名称を設定してください。



第 1 0 章 付録

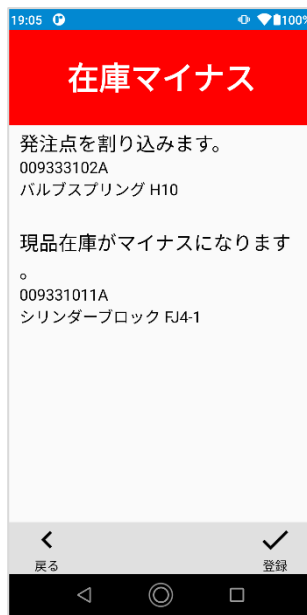
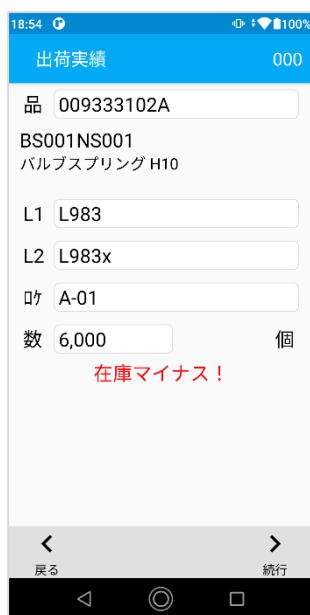
10-1 警告

[1] 警告画面表示

本アプリケーションで警告が発生した時は、警告メッセージが表示されます。

[続行]や[登録]をタップすると、処理を続行します。

[戻る]をタップすると前の画面に戻ります。



[2] 警告一覧

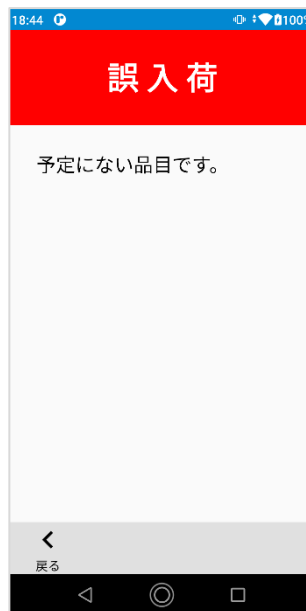
警告メッセージ	内容	対象
在庫マイナス！	数量入力時において、PC 在庫数にマイナスが発生。	出荷実績 倉庫間出荷 入荷返品 移動
発注点を割り込みます。	伝票登録時、発注点の割り込みが発生。	出荷実績 (数量自動カウントアップが ON の場合のみ)
現品在庫がマイナスになります。	伝票登録時、PC 在庫数にマイナスが発生。	
在庫がマイナスになります。	伝票登録時、引当残数にマイナスが発生。	
有効在庫がマイナスになります。	伝票登録時、有効在庫にマイナスが発生。	

明細最大件数です	品目入力時、明細登録数が999に到達。	入荷実績 入荷返品 出荷実績 出荷返品 倉庫間出荷 移動 棚卸
----------	---------------------	---

10-2 エラー

[1] エラー画面表示

本アプリケーションでエラーが発生した時は、エラー告知画面が表示されます。
[OK]や[戻る]をタップすると前の画面に戻ります。



注意！

一部、通常画面にエラーメッセージが表示されるものもあります。

[2] エラー一覧（共通）

エラーメッセージ	内容	対象
ログインできません グループ ID、ユーザー、パスワードに誤りが無いことを確認してください	入力されたグループ ID、ユーザー・パスワードでログインできない	ログイン画面 ログイン時
通信エラー インターネット接続に問題がないか確認してください。	通信時にエラーが発生した	共通
通信タイムアウト インターネット接続に問題がないか確認してください。接続に問題ない状況で、繰り返しタイムアウトが発生する場合は、システム管理者へ問合せしてください。	通信時にタイムアウトが発生した	共通
「ユーザー名」（ユーザー ID）は、別の端末でログインされています。同一ユーザーで複数同時にログインすることはできません。別のユーザーで再ログインしてください。	同じユーザーが別の端末でログインした	共通
バーコードの桁数が長すぎます。	バーコードで読み込んだデータが、入力項目の最大長さを超過している	共通 バーコード読取時
GS1 を読み取りました。	品目入力待ち以外で GS1 を読み込んだ	共通
現品票発行された QR コード形式を読み取りました。	品目入力待ち以外で現品票 QR コードを読み込んだ	共通
ロット 1 のデータを読み取りました。	システム設定でロット 1 が非表示時に、ロット 1 を含むバーコード／QR コードを読み込んだ	共通 品目入力時 ※Android のみ
ロット 2 のデータを読み取りました。	システム設定でロット 2 が非表示時に、ロット 2 を含むバーコード／QR コードを読み込んだ	共通 品目入力時 ※Android のみ
この品目はロット 1 が必須入力です。	ロット 1 が必須の品目に、空で入力した。	共通 ロット 1 入力時 ※iOS のみ

この品目はロット2が必須入力です。	ロット2が必須の品目に、空で入力した。	共通 ロット2入力時 ※iOSのみ
品目台帳登録なし	Keyコード(品目コード)入力時、品目台帳に登録なし	共通 品目入力時
ロケーション台帳登録なし	ロケーションコード入力時、ロケーション台帳登録なし	共通 ロケーション入力時
仕入先台帳登録なし	仕入先コード入力時、仕入先台帳登録なし	共通 仕入先入力時
出荷先台帳登録なし	出荷先コード入力時、出荷先台帳登録なし	共通 出荷先入力時
積送中の在庫は転記できません	在庫転記で積送中の在庫を選択した	共通 在庫転記時
300行を超えました。これ以上登録できません。	品目入力時、300行を超える明細を入力した	入荷実績 出荷実績 (数量自動カウントアップONの場合のみ) 品目入力時
送り先ロケーションが送り元と同じです。	送り先ロケーション入力時、送り元のロケーションと同じロケーションを入力した	移動 移動&在庫状態変更 ロケーション入力時
変更後在庫状態が変更前と同じです。	変更後在庫状態入力時、変更前と同じ在庫状態を入力した	移動&在庫状態変更 在庫状態入力時
明細に未使用(ロット)のデータがあります	システム設定のモバイル設定で未使用とされている項目にデータが存在する在庫を選択した	移動&在庫状態変更 在庫選択時
在庫がマイナスになります。	マイナスの在庫を選択した または、在庫数より大きい数量を入力した	移動&在庫状態変更 在庫選択時
棚卸が開始されていません。	棚卸メニューに入る際に、ログイン倉庫で棚卸開始されていない	棚卸 棚卸メニュー選択時
棚卸対象外です。	一部棚卸を実施している際、品目入力時、対象外の棚卸データを入力した	棚卸 品目入力時
在庫はありません。	指定品目の在庫がなかった	在庫参照(品目別) 在庫参照(詳細) 在庫検索時
ロケーションを指定する場合は倉庫を指定してください。	検索条件で倉庫を<条件なし>にしてロケーションを指定した。	在庫参照(詳細) 在庫検索時
プリンターが設定されていません。設定メニューでプリンターの設定を行って下さい。	現品票ラベル発行メニューに入る際に、プリンターの設定を行っていない	現品票ラベル発行 現品票ラベル発行メニュー選択時

プリンターとの通信ができません。	ラベル発行時、設定したプリンターとの通信ができなかった	現品票ラベル発行 ラベル発行時
------------------	-----------------------------	--------------------

[3] エラー一覧 (Pro のみ)

エラーメッセージ	内容	対象
ピッキングリストなし	引当伝票入力画面で空 ENT での対象伝票呼出時、ピッキングリストが 1 つも存在しない	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたピッキングリストが見つかりません	引当伝票入力画面でピッキングリストまたは元伝票番号での対象伝票指定時、入力された伝票番号のピッキングリスト(引当伝票番号)が存在しない。	出荷検品 引当伝票入力時
すでに検品済みの指示(引当)No.です	引当伝票入力画面で入力された伝票番号のピッキングリストが検品済	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたピッキングリストが複数存在します	引当伝票入力画面で元伝票番号での対象伝票指定時、入力された伝票番号のピッキングリストが複数存在する	出荷検品 引当伝票入力時
明細に未使用(ロット)のデータがあります	対象の指示/引当伝票確定時、システム設定のモバイル設定で未使用とされている項目に指示/引当データが存在する	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたロケーションと異なります	入力されたロケーションが指示内容と異なる	出荷検品 ロケーション入力時
予定にない品目です 指定された品目と異なります	入力された品目が指示内容と異なる	出荷検品 品目入力時
指定されたロット 1 と異なります	入力されたロット 1 が指示内容と異なる	出荷検品 ロット 1 入力時
指定されたロット 2 と異なります	入力されたロット 2 が指示内容と異なる	出荷検品 ロット 2 入力時
数量が予定数に対して不足しています	入力された数量が指示内容より小さい	出荷検品 数量入力時
数量が予定数を超過しています	入力された数量が指示内容より大きい	出荷検品 数量入力時

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル
Tel 045-472-0938 Fax 045-472-0934

在庫スイトクラウド マルチデバイスオプション マニュアル
2023年07月19日 第3.1版